

報道関係者各位

2021年6月4日
慶應義塾大学 SFC 研究所
大刀洗町

大刀洗町と慶應義塾大学 SFC 研究所 『地域おこしに関する研究開発の連携協力協定』を締結

—大刀洗町のみらい共創プロジェクトを開発・実践する「大刀洗みらい研究所^(※)」設置を推進します—

大刀洗町（福岡県三井郡 町長：中山哲志）と慶應義塾大学 SFC 研究所（所長：玉村雅敏 以下、SFC 研究所）は、2021年6月10日、『地域おこしに関する研究開発の連携協力協定』を締結します。

連携協力事業の第一弾として、大刀洗町は、2021年7月の発足を目指して、SFC 研究所の社会イノベーション・ラボの助言・協力の下、大刀洗町における「大刀洗みらい共創プロジェクト」の開発・実践を行う「大刀洗みらい研究所」の設置を準備します。

大刀洗みらい研究所では、町職員や地域で活動する方、連携する企業の社員等が研究員となり、大刀洗町に新機軸を提供するテーマを設定し、地域での実学を推進します。その際には、SFC 研究所との連携のもとで、同様の仕組みを構築している花巻市や壱岐市などとの広域連携にも取り組みます。

また、大刀洗町では、町職員が大刀洗の未来に資するテーマを設定し、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科に合格した場合、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（以下、SFC）からの遠隔と対面での助言と指導を受けながら、大刀洗町に資する研究開発に従事することも検討しています。

(※)「大刀洗みらい研究所」は大刀洗町が設置を予定しているものです。

1. 協定の概要

(目的)

SFC 研究所に設置されている社会イノベーション・ラボと、大刀洗町の緊密な連携のもと、相互に協力し、地域おこしに関する研究開発を行うことにより、活力ある地域社会の形成と、未来社会を先導する人材育成、実学の促進等に寄与することを目的とします。

(連携協力事項)

前項の目的を達成するために、次の事項について連携し、協力します。

- (1) 地域おこしや地方創生に関する研究開発に関すること
- (2) 地域おこしや社会イノベーションを担う人材育成に関すること
- (3) 両者の知的、人的及び物的資源の活用に関すること
- (4) その他、本連携協力の目的を達成するために必要な事項

2. 協定書調印式

日時：2021年6月10日（木）11:00～

場所：大刀洗町中央公民館 2階 大会議室（福岡県三井郡大刀洗町大字富多 819 番地）

出席者：中山 哲志（大刀洗町長）

玉村 雅敏（慶應義塾大学総合政策学部教授／SFC 研究所 所長）

<問合せ先>

■ 大刀洗町地域振興課（担当：渡邊・村田）

電話：0942-77-0173 FAX：0942-77-3063 E-mail：chiikidukuri01@town.tachiarai.fukuoka.jp

■ 慶應義塾大学 SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ（担当：菅井・山口）

電話：03-4590-0444 FAX：045-330-4343 E-Mail：si-lab@sfc.keio.ac.jp

（配信元：慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当）

電話：0466-49-3436 FAX：0466-49-3594 E-Mail：kri-pr@sfc.keio.ac.jp

【参考1：「地域おこし研究員」について】

「地域おこし研究員」とは、SFC 研究所（社会イノベーション・ラボ）と長島町（鹿児島県）・神石高原町（広島県）・三条市（新潟県）・釜石市（岩手県）・鹿児島相互信用金庫（鹿児島県）・大山町（鳥取県）・能代市（秋田県）・大崎町（鹿児島県）・東川町（北海道）・花巻市（岩手県）・邑南町（島根県）・壱岐市（長崎県）・大刀洗町（福岡県）等が共同で提唱・検討・推進をしているものです。SFC と連携する自治体・組織が、総務省「地域おこし協力隊」「地域活性化企業人」の制度や、独自制度・職員派遣制度等を活用し、地域に在住しながら、地域の現場で実践的な研究活動を行う SFC の大学院生等を対象に、自治体・企業・団体の選考により任用や任命されるものです（自治体等の選考や任命と、大学院の入学試験は連動しません）。

「地域おこし研究員」は、SFC からの遠隔と対面での研究指導・支援のもと、地域に新機軸を実現するテーマを設定して活動するもので、地方創生の実学を推進しながら、地域が抱える課題を、多様な主体の協働や連携を実現することで、共に解決することを目指します。SFC では、大学院政策・メディア研究科（社会イノベータコース）にて、遠隔と対面の助言や研究指導を行い、実践的な研究成果を達成できるように支援します。また、各種の講義や演習を e ラーニングやビデオ会議のシステムを用いて、遠隔受講できるようにすることや、現地での実践的な研究活動を行いながら学ぶからこそ効果的に学習できる授業設計を行っています。

「地域おこし研究員」は、2017 年 10 月より活動を開始し、これまで、長島町・神石高原町・三条市・釜石市・鹿児島相互信用金庫・大崎町・大山町・花巻市・邑南町・壱岐市・東川町にて 17 名が任用・任命され、活動してきました。

大刀洗町では、町職員が大刀洗の未来に資するテーマを設定し、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科に合格した場合、町からの活動支援をうけ、「地域おこし研究員」と同様の活動をしていくことを検討しています。

【参考2：慶應義塾大学 SFC 研究所について】

慶應義塾大学 SFC は、慶應義塾が創立（1858 年）以来、培ってきた様々な理念や体制、社会ネットワークを基盤に 1990 年に開設されました。その後、約 30 年にわたり、慶應義塾の根幹の 1 つである実学を推進する「未来を創る大学」として、学問を超領域に捉え、未来を切り拓く「問題発見・解決」を中軸に据えながら、「知の再編」も先導してきました。

SFC 研究所は、その SFC における教育・研究活動と、産官学および国内外の関連活動との双方向の協調関係を育みながら諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。学問を超領域に捉え、未来を切り拓く「問題発見・解決」を中軸に据えながら、「知の再編」を先導するという、21 世紀の先端研究をリードする研究の拠点として、SFC 研究所は、産官学金民の多彩な訪問研究者とともにプロジェクトを推進しています。大刀洗町と SFC 研究所との連携においては、SFC 研究所では「社会イノベーション・ラボ」が中心となり、助言・協力体制を構築します。



【参考3：大刀洗町について】

大刀洗町は、人口約 15,800 人、面積 22.84km²、福岡県の中南域を占める筑後平野の北東部、筑後川の中流域北岸に位置します。東は朝倉市、南は久留米市、北は筑前町にそれぞれ隣接しています。町の北部地域は大分自動車道の筑後小郡 IC に近いこともあり、住宅や工場が多く宅地化が進んでいます。一方、南部地域は、日本の三大河川の一つである筑紫次郎こと「筑後川」が穏やかに流れており、広大な農地を活用した農業が営まれており、新鮮な葉物野菜等が特産です。

大刀洗町は 10 年以上にわたる子育て支援や教育環境の充実など各種取り組みの成果もあって、日本全体が人口減少している中、人口や子どもの数が増加に転じています。また、住民参加のまちづくりを積極的に推進しており、よりたくさんの町民の方の意見を町政に反映させるため、また町の施策や課題について当事者意識を持って考える機会として、2014 年度から全国初の取り組みとして「住民協議会」を設置しました。町民から無作為抽出により選任された委員で構成し、町長から諮問された「町の施策・事業、課題等」について委員が自由に議論を行い、最終的には協議会の意見として町長に提言する仕組みです。また、「対話」形式のワークショップをいち早く各種話し合いの場に取り入れた結果、現在では、議会報告会や小学校区の話し合いも「対話」を重視した形式で行われています。

